

YULIANNNA

ユリアンナ・アヴデーエワ ピアノ・リサイタル

AVDDEEVA

PIANO RECITAL

2014年 11/14(金) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

Friday, November 14, 2014 at 7 p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 プラチナ券 ¥12,000

モーツァルト：ピアノ・ソナタ第6番 二長調 K. 284
Mozart: Piano Sonata No. 6 in D major K. 284

リスト=ヴェルディ：オペラ《アイーダ》より
神前の踊りと終幕の二重唱 S. 436
Liszt=Verdi: Sacred Dance and Final Duet from "Aida" S. 436

リスト：巡礼の年第2年「イタリア」から
ダンテを読んで(ソナタ風幻想曲)
Liszt: Après une Lecture de Dante

ショパン：24の前奏曲 op. 28
Chopin: 24 Preludes op. 28

© Harald Hoffmann

主催：KAJIMOTO

後援：ロシア大使館 協力：東京エムプラス株式会社

魅惑的な美と知性、そして古風な趣味の良さ—— Y.アヴデーエワのピアノを聴いて

2010年のショパン国際コンクールの覇者ユリアンナ・アヴデーエワ(2位はヴンダーとゲニューシャスが分け合い、3位はトリフォノフという激戦だった)の生演奏を初めて聴いた。昨夜ロイヤル・フェスティバル・ホールに登場したアヴデーエワは、ユロフスキ指揮ロンドン・フィルとブラームスのピアノ協奏曲第1番を共演した。

最初の一音から、彼女は音楽のかつ知的な洗練の極みを示していた。その音色に対する筆舌に尽くせぬセンスは驚異の一言に尽きる。アヴデーエワが引き出した半透明で神秘的なメツァ・ヴォーチェは、ブラームスならではの親密さに満ちていた。彼女は息の長い、巧みに形成されたメロディ・ラインを紡いでいく。と同時に、その音楽は和声の構造をベースに低音から構築されていくのだ。対位法、音色、バランスのコントロールも申し分ない。彼女のスレンダーなヴィジュアルから発せられるパワーがその頂点に達すると、雷鳴のごとき轟音が響きわたる。しかしその“轟音”は、音楽がそれを必要とする時にだけ、適切に引き起こされる。

あれほど理想的にオーケストラと融合できるピアニストはそう多くないだろう。昨夜、ブラームスのあの壮大なコンチェルトは、まるで“コンチェルトンテ”の様だった。それは独奏ホルンと交わしたデュエットしかり、ピアノが巨大なオーケストラの一部としての役割を担いながら、室内楽のごとくオーケストラと密な関係を築いていたところが大きい。彼女の演奏は魅惑的な美と知性、そしてあえて分類するならば古風な趣味の良さの最高の例とでも形容できるような何かを備え——知識と知性と十分に裏付けられながら、それでも深い直観に貫かれている。さらに彼女には、作曲家の音楽に宿る夥しい数のスペクトルそれぞれの陰影にふさわしいサウンドを見出す能力が備わっている。

ロンドンでまた彼女の演奏を聴けることを願う。

Jessica Duchan(音楽評論家・文筆家/ロンドン在住)

ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ) Yulianna Avdeeva, piano



© Harald Hoffmann

2010年、ショパン国際コンクール1位。アルグリッチ以来45年ぶりの女性優勝者として脚光を浴びる。

1985年モスクワ生まれ。5歳より、グネーシン特別音楽学校にてイヴァノフのもとでピアノを学ぶ。2003年、スイスのチューリヒ芸術大学でシチェルバコフに師事。並行してモスクワでも勉強を続け、グネーシン音楽院のトップのもとでも学んだ。2008年、チューリヒおよびモスクワの学校をトップレベルの成績で卒業。同年よりW.G.ナボレ主催のコモ湖国際ピアノ・アカデミーにて、バシュキロフ、ベルマン、フー・ツォンらの薫陶を受けた。

これまで、ギルバート指揮ニューヨーク・フィル、デュトワ指揮NHK響、ブロムシュテット指揮チェコ・フィル、ホーネックおよびバトレンコ指揮フィンランド放送響、ブリュッヘン指揮18世紀オケのほか、ロンドン・フィル、ベルリン放送響、ローマ・サンタ・チェチーリア管、エイジ・オブ・エンライトンメント管などと共演。

世界各地で行っているリサイタルでは、ショパンに留まらないこだわりのプログラミングを通して、磨き抜かれた高度なテクニックと深く真摯な音楽解釈を披露している。室内楽にも積極的に取り組み、ベルリン・フィルのメンバーによる「フィルハーモニア・カルテット・ベルリン」やユリア・フィッシャーらと定期的に共演。

録音では、東日本を支援するため、2011年秋にチャリティCD『ショパン：ソナタ第2番「葬送」／英雄&幻想ポロネーズ』(KAJIMOTO)、2013年にはブリュッヘン指揮18世紀オケとの『ショパン：ピアノ協奏曲第1・2番』(NIFC)をリリース。今秋には『ショパン：24の前奏曲』が発売予定。

芸術の真髄に迫る鮮麗なピアニズム

ユリアンナ・アヴデーエワ



NIFC NIFCCD 029J

ショパン国際ピアノ・コンクールの覇者と古楽界の円熟の巨匠、奇跡の共演——！1849年製のエラールで弾くショパンのピアノ協奏曲！

ショパン：ピアノ協奏曲第1番、同第2番
ユリアンナ・アヴデーエワ
(フォルテピアノ/エラール1849年製)
フランス・ブリュッヘン(指揮)
18世紀オーケストラ

日本盤限定 日本語解説付き



NIFC NIFCCD 600-601 (2CD)

45年振りの女性優勝者！そして最優秀ソナタ賞の栄冠に輝いたニューヒロイン！

第16回ショパン国際ピアノ・コンクール
ライヴ

ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ)
アントニ・ヴィト(指揮)
ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団



輸入・発売 株式会社 東京エムプラス 〒112-0011 東京都文京区千石4-14-10 三好ビル TEL 03-5976-5991 <http://www.tokyo-m-plus.co.jp/>

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

<http://kajimotoeplus.com/>

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 227-855)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

twitter @kajimoto_News

facebook

tumblr

YouTube

“kajinomusic”で検索！

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



- お車で越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間割引制度がご利用いただけます。
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金のご設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。